



基山町

# 議会だより

6月9日(土)に基山町キャンプ場で「こどもの居場所づくり」がありました。自分の箸をつくり、孟宗竹でごはんを炊き、みんなでおいしく食べました。

No.42

平成24年 第2回定例会

(傍聴者数 延べ161名)

6月議会

第2回定例会、議案審議	P 2
こんなことが決まりました	P 2～3
平成24年度補正予算	P 4
常任委員会報告(総務文教、厚生産業)	P 5
一般質問	P 6～12
意見書等の結果	P 12
休日議会アンケート結果	P 13
議長交際費の公表	P 13
議会改革特別委員会	P 14
9月議会会期日程(案)	P 14



紫陽花

# 第2回定例会

## 平成24年度補正予算を可決

平成24年第2回定例会は、6月7日に開会し、一般質問を休日開催とし、8日間の会期を経て14日に閉会した。

非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正をはじめとする二つの条例改正、規約の一部変更案と、平成24年度の一般会計及び特別会計の補正予算を審議し、全9議案を可決した。

平成24年 第2回定例会議案賛否表

		賛 否 表										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
神前輔行	久保山義明	牧藺綾子	木村照夫	河野保久	重松一徳	鳥飼勝美	大山勝代	片山一儀	品川義則	林博文	松石信男	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 議 案 審 議

### 非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

問 一部改正により、どのように変わるのか。

答 地籍調査事業の廃止により地籍調査事業推進委員を廃止する。新たに専門的なアドバイスを行うため就学指導委員会委員報酬を設ける。

### 就学指導委員会とは

子どもの状態に応じて、教育学、医学、心理学等の観点から総合的に判断し、適切な就学指導を行う委員会である。

### 平成24年度一般会計補正予算

問 本桜・城の上線道路改良工事の全体計画はどうなっているのか。

答 工事は、平成24年度から平成28年度を予定し、本年度は仮設道路設置に着手する。

問 けやき台駅通り屋根改修工事の内容は。

答 JRからの指摘により、ルーフィングが風で飛ばされ線路に落下する等の危険があるので、改修する。

# こんなことが決まりました

## 平成24年 第2回定例会 (6月7日～6月14日)

区分	議案	内容	結果
第17号議案	基山町印鑑の登録及び証明に関する条例及び基山町手数料条例の一部改正について	住民基本台帳法の一部改正及び外国人登録法の廃止に伴い、外国人も日本人と同様に住民基本台帳に登録される。外国人の印鑑登録も同様となる。	原案可決
第18号議案	基山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	地籍調査事業の終了により地籍調査事業推進委員を廃止する。また、専門的なアドバイスを行うための就学指導委員会委員報酬を1人分新たに設ける。	原案可決
第19号議案	佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について	佐賀県市町総合事務組合に佐賀県西部広域環境組合と多久市が加入するため組合規約を変更する。	原案可決
第20号議案	平成24年度基山町一般会計補正予算(第2号)	従前の予算に1億3,054万円を追加して総額を53億2,391万円にする。	原案可決
第21号議案	平成24年度基山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	人事異動に伴い、従前の予算から2,136万円を減額して総額を21億461万円にする。	原案可決
第22号議案	平成24年度基山町下水道特別会計補正予算(第1号)	人事異動に伴い、従前の予算に803万円を追加して総額を4億332万円にする。	原案可決
第23号議案	専決処分の承認を求めることについて(基山町税条例の一部を改正する条例)	東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限延長の特例措置が国会で3月31日に決定した。	原案承認
第24号議案	専決処分の承認を求めることについて(基山町国民健康保険条例の一部を改正する条例)	第23号議案と同じ内容。	原案承認
第25号議案	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度基山町一般会計補正予算(第7号))	平成23年度分の地方譲与税、地方交付税等の交付額が3月末に確定した。	原案承認

# 平成24年度補正予算

## 一般会計補正予算

1億3,054万円を追加し、予算総額53億2,391万円となった。

主要な内訳	歳入		歳出	
	国庫支出金	1,661万円	総務費	2,869万円
	県支出金	605万円	土木費	1億 44万円
	繰入金	8,900万円	教育費	1,781万円
町債	1,600万円			

### 一般会計歳出の主な補正内容

・庁舎空調設備修繕料	1,261万円
・庁舎1階設置用の有料コピー機借上げ料	9万円
・町長懇談会・地域担当職員時間外勤務手当	124万円
・協働のまちづくり推進事業委託料	84万円
・けやき台駅通り線屋根改修工事	406万円
・城戸1号線道路改良工事	△800万円
・本桜・城の上線道路改良工事	4,900万円
・本桜・城の上線道路改良工事に伴う用地購入費	1,200万円
・本桜・城の上線道路改良工事に伴う物件等移転補償費	300万円
・都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業工事設計委託料	600万円
・都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業工事	1,500万円
・公営住宅等長寿命化計画策定業務委託料	560万円
・住宅リフォーム緊急助成事業補助金	747万円
・消防備品費(2・5・7部小型動力ポンプ取替)	614万円
・若基小学校プールサイド改修工事	786万円
・図書館等建設検討委員会委員報酬	14万円
・教材備品費(小中学校用電子黒板・デジタル教科書)	662万円

## 国民健康保険特別会計補正予算

2,136万円減額し、予算総額21億461万円となった。

## 下水道特別会計補正予算

803万円を追加し、予算総額4億332万円となった。

# 図書館等建設検討委員会立ち上げ

総務文教常任委員会

まちづくり基本条例では町民の意見を聴くのが基本である。従って図書館の建設に関しても、パブリックコメント、意見交換会、審議会などの方法で聴く。

検討委員会の委員構成は白紙から始める。できるだけ早く答えを出したいが、委員会開催を予算上での5回に限定するものではないとの説明を受けた。

また、委員会名に「建設」が入っているが、まだ建設するかどうかの検討も終わっていない。当委員会としては、図書館建設検討委員会設置要綱については、名称や所掌事務等を含め慎重に検討して見直すよう要望した。

## 協働のまちづくり推進事業委託料

同事業委託料84万円については、過去3年間で1800万円をかけている。その評価も無く続けられることに對してその内容を質したところ、コミュニティ支援のため2地区に5回、地域担当職員制度に関する職員研修に2日間で4回を考えているとの説明を受けた。

業者の選定については、これまでと同じ業者に委託することであった。当委員会としては、これまでまちづ

くりに関して職員研修を実施しており、その技能を活用しスキルアップを図るため、既に研修を受けた職員で事業を実施するよう強く要望した。

## 国の特別史跡「基肆城跡」を視察

文化財の保存整備状況を見るため、基肆城跡を視察した。

平成21年度以降、基肆城跡水門石垣保存修理事業が進められている。平成24年度には石垣基礎部・水門部周辺の発掘調査、石垣・土塁の修理工事をすすめる。最終的には平成26年度の完了を目指しているとの説明を受けた。

平成26年度以降については、文化財整備への価値観等を反映の上、基肆城跡に見合う整備手法を検討しながら整備計画を見直す方向とのことである。

当委員会は、整備活用については国宝級の特別史跡として、福岡県側の関連自治体や機関との連携を図っていくことが必要ではないかとの提言を行った。



▲水門石垣保存修理の現場視察

# 本桜・城の上線道路改良工事始まる

厚生産業常任委員会

本桜・城の上線道路改良工事の説明を受けた。

平成24年度〜28年度の事業である。仮設道路162・8mを施設し、その後ため池埋立てを実施する。ため池の埋立ては地盤沈下を防止しながら盛土整地を行い、道路改良工事を進める。

当委員会としては工事計画を進める上で、地元住民の不安や要望を十分に配慮し工事を行うように要望した。また、ため池埋立て後の土地が有効に活用できるように、道路法線の検討を求める意見があった。



▲たんぼぼ保育園そば



▲神の浦ため池

については、予定では対象者の35%（983人）を想定し予算措置をしていたが、すでに997名の申込みがあり、今回100名分を追加した。その理由は民生委員の協力で加入者が増えたからであり、高齢者に喜ばれているとのことである。

## 「放課後児童クラブコスモス教室」を視察

放課後児童クラブの運営状況について放課後児童健全育成事業の経緯（定員、対象学年、利用料、保育時間等）について説明を受け、放課後児童クラブコスモス教室（若基小学校内）の現地調査を行った。

安全対策面の対応は、こども課に連絡をとり、指示を仰ぐようにしている。不審者出没等の緊急連絡は、通報ベル等を活用し、学校側にも要請をすることもあるとの説明を受けた。

また児童の利用確認は保護者と詳細に連絡をとっている。指導員の人員配置は通常A教室3名、B教室2名。児童入所者数の増減により変更している。指導員は安全面の管理上、最低でも2名以上で児童の指導、管理を行っている。

## 交通災害共済負担金を追加予算 5万円

70歳以上の交通災害共済負担金追加予算について説明を受けた。加入者数

# 12名が町政を問う

# 一般質問

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。6月は土曜日と日曜日の2日間、「休日議会」で一般質問を行いました。2日間で延べ151名の多くの皆さんに傍聴に来ていただきました。

12名の一般質問を2日間で行うため、通常は一人の持ち時間は70分ですが今回は60分とし、時間も早めて9時から始めました。



## 問 介護サービスの安定を 答 サービスの低下はあってはならない



神前 輔行 議員

要があるため。改定率は1・2%で、在宅分1・0%、施設分0・2%となっている。

**問** 今後、町独自の政策が必要になってくると思うが、新しい政策は。

**答** 介護報酬の改定は介護サービスに係る部分であり、より充実されるものと思っている。町としては地域包括支援センターや鳥栖地区広域市町村圏組合と連携し、利用推進に努めたいと考えている。

**問** 介護報酬改定の必要性と、一番大きく改定されたのは何か。

**答** 介護保険制度の基本理念である、可能な限りその居宅において自立した日常生活を営むことができるように配慮しつつ、介護報酬の全体的な水準の改善に留意する必

**要望** 今回改定の最大のテーマは、高齢化がピークを迎える2025年に向けて「地域包括ケアシステム」の基盤整備を進める点にある。また、75歳以上の後期高齢者の数が増加、その結果中重度者や医療ニーズの高い要

介護者を低コストな在宅

サービスで支える必要性が高まってくる。基山町では是非介護サービスの体制を整え、サービスの低下につながらないように要望する。

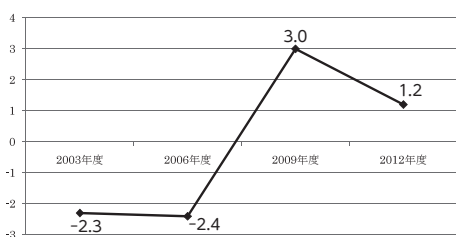
「きやまん」について

**問** 「きやまん」のキャラクター設定はどのようになっているのか。

**答** 特にない。

**問** 今後、「きやまん」のPRはどのようにしていくのか。

**答** 「きやまん」というのは基山町をPRするために設けられたが、「きやまん」を売り出すために設けられた訳ではない。



▲介護報酬の改定率の推移

# 「小森町長は、懸案事業を実施せよ」

鳥飼 勝美 議員



**問** 小森町長三期目の4年間で取り組む、主要な事業は何か。

**答** 急ぐのは図書館の検討と旧内山建設跡地活用、もちろん仕掛中の道路の継続とその後の道路事業も必要である。また老朽化している老人憩の家、保育所、町営住宅も考えねばならない。

**問** 町長は、主要な事業の実施が必要であり、検討し、考えていかねばならないということだが、町長の答弁は、いずれも「考え、検討しなければならぬ」と抽象的で、具体的な実施年度等が全く明示されていない。町長の懸案事業の実施が求められているが。

**答** 各主要事業の実施計

画、優先順位等はまだ決めていない、今後十分検討していきたい。

**問** 最大の懸案事項である、図書館建設を今後どのように進めていくのか。

**答** 今年度中に「図書館建設等検討委員会」を設置し、建設場所を含めて検討していく。

## 副町長制復活について

**問** 副町長制復活により、町政運営に変化はあるのか。

**答** 基本的に大きく変化することはなく、職員への命令、管理指導の強化になると思う。

**問** 副町長に対し職員への管理指導を期待しているとのことだが、それだけではなく、町の政策決定、判断を行うときに、副町長と綿密な連携に基

づく政策決定が重要と考えるが。

**答** 当然、今後の政策遂行には、副町長と連携して実行していく。

## 基山町への思いは

**問** 佐賀県庁職員として、基山町外から初めて就任された、田代副町長の基山町への思いとはなにか。

**答** 漠然とした思いとして、基山町は社会資本の整備が完了し、交通の要衝。平成の合併に参加せず、単独で町運営を選択された気概のある町との印象を持っている。今後は、地域の特性を大切にしたい個性のなまちづくりが必要と考える。

## 基山町の行政改革の現状は

**問** 基山町の行政改革がここ2年間にも実施されず、空白機関となつていく。今後はどのように行っていくのか。

**答** 今年の10月を目標に、第5次行政改革大綱及び実施計画を策定し、基山町の計画的な行政改革を実施していく。

# 問 協働実績について 答 充分とは言えない状況

久保山義明 議員



**問** 町が実施する公共サービスにおいて協働が可能と思われる事業の項目数を示せ。

**答** 7事業を考えている。具体的には、林道・公園等の管理業務の他、観光協会、放課後児童対策事業を来年度からの予定で行いたい。

**問** 現在の基山町における全事業数は把握していないとのことだが、まちづくり基本条例の情報の提供の観点からも、棚卸しも含めて全事業を公開すべきではないのか。

**答** 現在、事務事業評価表を作成しており、これによって全事業数の把握、公開は出来ると思う。

## 子どもの医療費等 適正受診について

**問** コンビニ受診等を考えるためにも適正受診プログラムを制定すべきと考えるがどうか。

**答** 研究する必要があると考えるが、電話相談等の情報提供を行っているので状況を見ていきたい。

**問** 電話相談とは全国共通の小児救急電話相談（#8000）と思うが、基山町からはどこにつながるのか。

**答** 福岡県側、主に聖マリア病院など広域救急センターと連携を取っている。

**要望** 若い世代は固定電話ではなく、携帯電話がほとんどだと思われる。その場合は、佐賀につながる。ガイドブックを住民と一緒に作りながら、コンビニ受診やジェネリック医薬品などについて情報共有が必要。

## 問 通学路の安全対策を 答 危険箇所を再チェックする



大山 勝代 議員

**問** 学校から出している安全マップの中で、危険箇所については事故の後点検している。

**答** 児童生徒の登下校時の安全対策について、これまでどんな取り組みをされてきたか。

**答** PTA、交通指導員、まちづくり推進委員、区長さん、その他地元ボランティアの方々に協力していただき、交通指導と合わせて安全点検等を行っている。また学校職員も定期的に巡回し、安全点検・下校指導をしている。教育委員会も各団体や住民の方からの指摘があれば確認を行っている。

**問** 京都府亀岡市などの一連の痛ましい集団登校時の児童の死亡事故の後、基山町はどんな安全対策をなされたか。

**問** 今後危険箇所の改善をすべきところはどこか。私は5ヶ所を指摘したい。

- 答** 文教通り中学校西方面（歩道がない）
- ① 文教通り中学校西方面（歩道がない）
  - ② 秋光交差点（エブリワン）
  - ③ 基山小正門そばの三つ角
  - ④ 基山駅ロータリー周辺（送迎の車が多い）
  - ⑤ 農協ガソリンスタンド横（歩道がない）

**答** 通学路の中で、歩道がなく危ないと思える箇所がある。予算もからむが安全対策がとれないかと考えている。



▲安全な歩道を（文教通り）

**問** 安全マップには81カ所の一一〇番の家がある。看板やステッカーが古くなり、用をなしていないところを見かける。役立っているかどうか疑問だがどう対応しているか。

**答** 一部一一〇番の家を引き受けられないと申し出があった所は入れ替えて対応している。

**問** 地域福祉計画の趣旨を示せ。

**答** 地域の助け合いによる（見守り活動など）福祉を推進するため、共に生きる社会づくりを目指す。その理念と仕組みを作るもの。自治会やボランティア団体・地域住民の協力を得て行う。

## 問 学童保育料の軽減を 答 少し考えさせていただく



松石 信男 議員

**問** 保護者から、毎月の学童保育料を少しでも安くして欲しいとの声がある。就学援助世帯などへの利用料の減免や支援策は何かあるのか。

**答** 学童保育では支援策は無い。保育料では、生活保護世帯や母子家庭で非課税世帯は保育料は無料、兄弟姉妹の同時入所は2人目は半額、3人目は無料である。

**問** 保育料は軽減があるが、学童保育の利用料には軽減はない。就学援助世帯や母子家庭世帯の収入は生活保護すれすれで、他の世帯の収入の半分以下の厳しい暮らしだ。就学援助世帯の同時入所の2人目の利用料は半額免除し、3人目は無



▲学童保育利用料の軽減を

**安全に疑問、玄海原発再稼働許すな**

**問** 福島原発事故の原因究明はなされていない。放射能の拡散予測がされていないし、避難計画も決まっていない、中立的な原子力規制機関がないなかでの再稼働は行うべきではない。

**答** 安全性もあるが、経

済的な生活のこともあるので仕方がない。

**問** 基山町民が安心できるように九州電力と「現状変更に対する事前了解」「異常時の連絡」「立入り検査」「周辺自治体の損害補償」などが明記された原子力安全協定を結ぶべきだ。

**答** 基山町は玄海原発から65キロ、厳しい安全協定を結びたい。

**問** 国保会計の平成23年度決算、24年度の収支の見通しはどうか。また来年度からの国保税上げはどう考えるのか。

**答** 23年度は黒字の見込み、24年度は今のままで赤字になる可能性がある。引上げは26年度4月からお願いする。

**問** 自営業で年間所得200万円、夫婦（40歳以上）・子ども2人の4人家族では国保税はいくらになるのか、また、感想はどうか。

**答** 40万8900円。所得にたいする割合は2割、ずいぶん重いと思う。



## 問 魅力あるまちづくりとは 答 自然を活かしたまちづくり

河野 保久 議員



**問** 町長が所信表明で言われた魅力・特色あるまちづくりとは、具体的にどのようなことか。

**答** 町の魅力は、人によって違う。都市化で周辺の自然が失われつつある中、基山町の自然、静かさ、そして人と人との関わり、ふれあい、絆、優しさ、愛情が感じられることを町の魅力として出せばいいと思う。

**問** 実現するための施策を示せ。

**答** 自然を守り、助け合う福祉の心を育て、対話・協働を進めていくことである。

**問** 住民からは、リーダーとしてのスローガンをといて声も聞かれるが、スローガンを出せば

良いということではなく、皆で話し合っていくことが大切である。

**問** まちづくりを進めていく中で、合併問題はどのようにするのか。

**答** 今は単独で存続していく気概を持ってまちづくりを考え、協力していかねければと考える。しかし合併を頭から否定するのではなく、議論を深めて行くのは重要である。

### 町の職員数と住民サービスについて

**問** 役場職員の総人員はどのように決めているのか。

**答** 国が定める同規模の地方公共団体の類似団体の状況や町の新規事業等の事務量調査を行い、職員数を決定している。

**問** 各課の職員数は充足していると考えるか。  
**答** 保育園の保育士に関

しては2名減となった。計画見直し時に係長にヒヤリングを行い、数の把握・検討を行っている。

**問** 職務を遂行していくうえで、課をまたいで連携はあるか。

**答** 健康増進、虐待問題、就学支援問題、転入・転出業務等で連携を行っている。

**問** 休日出勤をした際の代休は取られているか。

**答** 振替休日は適切に行っている。

**問** 土・日の開庁を含め、住民サービス向上のための施策は考えているか。

**答** 町では現在土・日の開庁は考えていない。



▲マンション予定地に戸建住宅を建設

## けやき台道路計画再開は しっかりと取り組み

品川 義則 議員



**問** けやき台道路工事計画は必要だという考えに変わりはあるか。

**答** 道路の必要性に変わりはある。

**問** 若基小で行なわれた地元説明会で、測量設計もしないで開催したのは失敗ではないか。

**答** 確かに準備不足で開催し、深く反省している。

**問** 先送りを決めた後、計画実施に向けての動きは。

**答** 反省を踏まえて担当課で進んでいる部分もある。

**問** 地元懇談会でけやき台道路に関する意見は出たのか。

**答** どうなっているのかと問われたので、重要性は認識している。時期を待って欲しいと答えた。  
**問** 数年掛かる事業なの

で測量設計費を早急に予算化すべきではないか。  
**答** 他の事業もあるが、ぐずぐずはできないと思っている。

### 土曜日授業はいつから

**問** 土曜日授業はいつから行なうのか。

**答** 9月から実施する。内容については各小中学校において検討中だ。

**問** 実施する理由と効果は。

**答** 新学習指導要領で授業の時間数が35コマ増えて授業日が増加する。体験学習などの時間数が確保できる。

**問** 「生きる力」を育てる、地域の協力で子どもを育てるといふ方針で進んできた結果として、様々な地域行事が土、日に組まれている。各団体との調整は。

**答** 地域の今の活動を無視して土曜日開校を考えると、必要ない。計画を示し

て協力をお願いしていく。  
全国学力テスト結果を公表せよ

**問** 全国学力テストの結果はどう出たのか、全国平均、県平均との比較はどうか。

**答** 全国の平均は未だ出していない。県平均との比較では小、中学校ともに正答率ほどの教科においても、同等又はやや下回っている。

**問** 以前の結果では全国で37位と言う結果が出ているが、全国レベルで考え重く受け止めるべきだ。  
**答** 今後は学習における基礎基本の定着を図るため、スキルタイムを実施。また、活用力を育てる活動として、「書く活動」「話す活動」を多く取り入れる。さらに、「学ぼうとする力」を伸ばしていく。

**問** 「朝ごはんを食べる」「学校であったことを親に話す」「携帯電話の使用の方は家族とのルールを守っている」児童生徒は正答率が高いという調査結果が出ている。保護者に公表し協力を得るべきではないか。

**答** 学力を高めるために、必要な情報を公表していく。

## 問 コンパクトシティのまちづくりとは 答 まとまりよく機能するまち



木村 照夫 議員

もった協働を推進すること  
とて住みやすさが実感で  
きる町と考えている。

### 通学路周辺の安全再 検を

**問** 基山町の人口予想推  
移を示せ。

**答** 国立社会保障・人口  
問題研究所の推計では2  
020年1万7649  
人。2030年1万63  
34人。2035年1万  
5547人である。

**問** 町長が提言されてい  
るコンパクトのまちづく  
りとは。

**答** 小さくまとまりが良  
く機能するまちである。

**問** コンパクトシティの  
取り組みについて今後ど  
う展開するのか。

**答** 機能するとは財政、  
住民サービスが果たせる  
ということ。町政を確保  
する歳入、歳出、人口、  
町の魅力、特色を考える  
こと。そして住民と行政  
が一体感・協力意識を

の確認を行っている。ま  
た、集団下校時にも職員  
がチェックをしている。  
教育委員会でも住民の方  
から情報が入った場合な  
ど不定期に安全点検を  
行っている。

**問** 交通安全指導員は町  
内何人いるのか。

**答** 基山町交通安全指導  
員は各区指導員が17名、  
各小中学校PTA役員が  
(各1名)で3名の合計  
20名である。

**問** 通学路で交通指導さ  
れている地域のボラン  
ティアの人数等は把握し  
ているのか。

**答** 通学路の交通指導し  
ている場所については把  
握しているが、人数等は  
把握していない。

**問** 町内小中学生の登下  
校の事故状況を示せ。

**答** 基山小1件(H23年)  
登校中、交差点で後方か  
ら右折した車と接触事故  
けがなし。若基小 事故  
なし。基山中(H21年)  
①下校中、交差点で接触  
けがなし。②下校中、後  
方より車から追突。骨  
折、打撲により3か月入  
院。③下校中、自転車  
道道を横断中に車と接  
触。打撲、擦り傷。④自  
転車で登校中、前方から  
来た車と接触。打撲。

**問** 通学路の安全点検は  
実施しているのか。

**答** 通学路の安全対策に  
ついては、学校職員が定  
期的に実施し、危険箇所



▲ボランティアによる交通安全指導

## 町政運営に関して



片山 一儀 議員

**問** 町長の役割は調整  
役、リーダー又は指揮官  
のいずれか。

**答** それらの能力を兼ね  
備えケースバイケースで  
使い分けるのが理想だ。

**問** リーダーと指揮官の  
違いは。

**答** リーダーは引つ張  
る、指揮官は命令・指揮  
だ。

**問** 指揮官には法的な任  
務・権限がある。リーダー  
には権限が無い。町長は  
決心が出来ないから何も  
進まないという声を聞く。  
町長は決心をしているか。

**答** 私は一貫して、協働  
だと言っている。

**問** 我が国は間接民主  
義を採用し、有権者の  
方々は専門に忙しい。行  
政は町長と議会に任せる  
態勢が間接民主主義では  
ないか。

**答** 私は一貫して、協働  
だと言っている。

**問** 総合計画実施のた  
め、毎年実施計画を作っ  
ている。今年度分は今6  
月に提出された。年度開  
始前に作り、予算に反映  
させないと意味がない。  
計画に具体性が欠けるの  
では。

**答** 具体的な内容が乏し  
いのであれば、少し見直  
す必要がある。

**問** 町長がコンサルを利  
用することは悪いことで  
はないと考えており、職  
員が計画作成を修練する  
機会が少なかった。副町  
長は総合計画等を見られ  
たか。

**答** 私は県から来ている  
ので、県の計画は見慣れ  
ている。市町村の計画は  
若干小さくなるという印  
象を受けている。

**問** 実行できない、ある  
いは実行しない計画は何  
の価値もない。行政が事  
務を行うには、計画作成  
能力は必須だ。

**答** 公務員は企画力、創  
造力を求められている。  
職員の能力を上げ、強化  
する必要もある。

**要望** 役場に「悪貨が良  
貨を駆逐する。」という  
態勢だけは作らないでい  
ただきたい。

**問** 計画を作る目的は。  
**答** 計画的に実行するた  
めだ。

### 基山町の諸計画につ いて

**問** 第4次基山町総合計  
画及びその後の各種計画  
作成委託料は。

**答** 第4次総合計画の作  
成委託料は1337万  
円。それ以降に作成した  
諸計画は11件あり委託料  
総額は2225万円。

**問** 計画を作る目的は。  
**答** 計画的に実行するた  
めだ。

# 福岡都市圏なのになぜ 基山町だけが人口減なのか

後藤 信八 議員



**問** 平成23年の人口動態で社会増25人の内訳は。  
**答** 転入7377人に対し転出712人と減少した。  
**問** 転出はピークを過ぎたか。  
**答** 転出が減少傾向であることは言えると思う。  
**問** 九州経済調査協会の推計では基山町は2025年には1万4900人と大幅減に対し、鳥栖市は7万8900人に増加する。悔しくないのか。  
**答** 「なぜ鳥栖市だけが」の思いはある。

## 人口減に危機感を持つべき

**問** 基山町の一人当たり町民所得は244万円。人口が1000人減れば24億所得が減る。町のくらし、経済も落ち込む。  
**答** 人口減は町内の消費経済に影響が大きいと考えている。  
**問** 基山町に出生率の統計はないのか。  
**答** 把握していない。  
**問** 把握していない。  
**要望** 町の最重要政策である子育て支援策の評価方法として、出生率や子育て世代の転入などを常に把握すべきである。

**問** 都市計画で見直すべきか。  
**答** 都市計画で本来市街化するべき残存農地はいくらあるか。  
**答** 32ha（9万6000坪）あるため線引きの見直しが困難である。  
**問** 線引きの見直しについて、県とどう交渉してきたのか。国土利用計画に明記している長野地区の市街化はどうなっているか。  
**答** 地元要望も聞いているが、具体的な開発計画が明らかにならないと許可が難しい。  
**問** 基山駅から1km圏内の残存農地の市街化や調整区域の見直しで宅地化を進めれば、もつと住宅建設が増えて人口も増えるのではないか。  
**答** 小規模な見直しは県とやってきた。それでもなかなか進まない。  
**要望** 住宅建設の経済波及効果は大きい。300戸建てば100億近い事業が見込まれ、基山町の人口増と経済、くらしが活性化する。思い切った土地利用政策の実行を強く要望する。

# 問 ICT活用した授業は 答 電子黒板で授業の充実を

牧園 綾子 議員



**問** 佐賀県教育委員会の先進的ICT活用教育推進事業に対し、基山町での取組の進み具合は。  
**答** 電子黒板を小学校2校に各1台、中学校に2台を設置し、各学校がフロアに一台配備できるよう準備している。あわせてデジタル教科書を小学校の全学年に国語・算数、中学校に国語と数学を導入し、電子黒板での授業の充実を図っていく予定。  
**問** ICT活用教育推進協議会で示した将来展望の進捗状況は。  
**答** 今年度中にすべての教員が、電子黒板を利用して授業が行えるよう研修の充実を努める。

## 今後の高齢者の介護支援の形について

**問** 高齢者ボランティアポイント制度の内容を示してほしい。  
**答** 佐賀県の制度では「サポーター」と称し、ボランティア参加対象者は65歳以上の方。施設でレクリエーションの支援、食堂でのお茶出し・配膳、入居者との話し相手などのサービスの提供等。  
**問** 平成25年以降、基山町はどう取り組んでいくのか。  
**答** 第5期介護保険事業計画の重点事業としての介護予防体制の充実を図っていききたい。

**問** 介護保険事業は、1市3町の鳥栖地区広域市町村圏組合で運営している。連携をとりながら進めていく。  
**空き家率を下げ、安心なまちづくりを。**

**問** 基山町の空き家率を地区別と全体で示してほしい。  
**答** 一戸建住宅については、4%未満と見込んでいる。（全国的には、全国13.1%、佐賀県11%）  
**問** 放置空き家はどのくらいあるのか。  
**答** それについての調査をしていない。



# 問 基山駅前事故が心配！ 答 運行委託会社に整理員の要請を



重松 一徳 議員

## 基山駅前と商店街の再開発について

- 問** 朝夕の基山駅前に送迎バスの乗入れ状況は。
- 答** 朝7時半から一時間の状況は、弥生が丘企業3社が11回、東明館スクールバスが8回、町内企業が3回、町内神社が1回乗入れ、合計23台。夕方は20台の送迎バスが乗り入れている。
- 問** 一般通勤客の車や歩行者との接触事故等を心配するが、運行委託会社に交通整理員を配置するように要請できないか。
- 答** 事故が起きてからでは遅いので、強く要請したい。
- 問** 駅前の夜間照明が暗く、イメージも良くない。
- 答** 改善できないか。
- 答** 屋根付き通路の照明が足りない箇所は改善したい。
- 問** モール商店街の空き店舗数は。
- 答** 貸し店舗募集は4件、営業していない店舗は7件ある。住居と一体の事情で貸出予定がないものもある。
- 問** 歩行者通路の植樹帯やベンチを撤去して、イベントや軽トラックなどが出来るように改修計画は。
- 答** 商店街の意見を聞かなければならない。
- 問** 基山町中心街の活性化のためにも容積率の見直しは出来ないか。
- 答** 出来るし、その要望もある。
- 問** 旧役場を中心とした基山町商店街の再開発計画を策定すべきでは。
- 答** 今のところ再開発計画の策定は考えていない。

## 農業問題について

- 農業委員会会長に所見を伺った。
- 問** 町内農地面積と耕作放棄地面積は。
- 答** 農地面積は386ha、耕作放棄地は10.2haある。
- 問** 耕作放棄地の解消の取組みは。
- 答** 耕作放棄地の大半は中山間地である。農地パトロールをしてこれ以上の拡大しないように農地管理を指導している。
- 問** 地産地消の取組みは。
- 答** 青空市場や農産物直売所で新鮮・安価な値段で販売し、学校給食に基山の米を供給している。
- 要望** 町長には、基山町農業発展のために農業者の意見を聞き、具体的支援をするよう要望した。



▲農業委員会会長の答弁

## 意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。議会に提案するには2名以上の議員の署名が必要です。皆さんの意見書を議会に提出して欲しい場合は2名以上の議員の賛同が必要です。また、陳情の場合は議員の賛同は不要ですが、取扱が変わります。詳しくは事務局にお尋ねください。

今回は、1件の意見書と2件の陳情等がありました。

区分	件名	内容	結果
意見書	教育予算の拡充を求める意見書	・義務教育水準の維持向上を図るため、小中学校の学級編成の標準を順次改定するとともに、必要な安定した財源の確保に努めること ・義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元すること。	採択 (賛成多数)
陳情等	市民を守るために九州電力との安全協定の締結を求める陳情書	提出者：玄海原発プルサーマル裁判の会 代表 石丸初美 外15団体	全議員に配布
	震災がれきの広域処理問題について問題点及び共有化を求める要請書	提出者：プルサーマルと佐賀県の100年を考える会 共同世話人 野中宏樹 玄海原発プルサーマル裁判の会 代表 石丸初美 佐賀大学教授 豊島耕一	

# 休日議会アンケート結果

6月議会では、昨年12月の議会と同様に、9日（土）と10日（日）に休日議会を開催し、一般質問を行いました。傍聴いただいた方は9日が86人、10日が65人、2日間合計で151人でした。12月の休日議会の傍聴者数136人を上回り、議員一同大変感謝しております。ありがとうございました。

傍聴者の皆様にはアンケートをお願いしましたところ、117人の方にご協力いただきました。結果は下記のとおりです。この結果を分析し、今後の議会運営に反映させていただきます。ご協力ありがとうございました。

## 傍聴者数

6月7日	提案理由説明	1
6月9日	一般質問	86
6月10日	一般質問	65
6月11日	議案審議	6
6月12日	常任委員会	1
6月14日	討論採決	2
合 計		161

## アンケート枚数

6月9日(土)	70
6月10日(日)	47
合 計	117

## 性別

男 性	71
女 性	44
記入なし	2
合 計	117

## 年齢

20歳未満	0
20歳代	3
30歳代	6
40歳代	7
50歳代	13
60歳代	55
70歳以上	31
記入なし	2
合 計	117



## 職業

無 職	58
会社員	8
自営業	13
公務員	14
学 生	0
パート・アルバイト	6
その他	12
記入なし	6
合 計	117

## 居住地

町 内	1区	5
	2区	1
	3区	6
	4区	4
	5区	1
	6区	7
	7区	14
	8区	5
	9区	6
	10区	8
	11区	6
	12区	23
	13区	1
	14区	1
	15区	2
	16区	6
	17区	5
記入なし	7	
小 計	108	
町 外	7	
記入なし	2	
合 計	117	

## 以前に傍聴経験の有無

あ る	70
な い	42
記入なし	5
合 計	117

## 「ある」のうち12月に傍聴した人

傍聴した	47
傍聴していない	20
回答なし	3
合 計	70

## 傍聴した理由（複数回答3名）

1. 休日で時間があつた	20
2. 興味ある議案	52
3. 知人に誘われた	13
4. 議会を見たかつた	17
5. その他	13
0. 無回答	5
合 計	120

## 休日議会を何で知つたか（複数回答27名）

1. 議会だより	29
2. 広報きやま	46
3. ホームページ	10
4. 回 覧 板	15
5. 議 員 から	33
6. 知 人 から	17
7. そ の 他	6
0. 無 回 答	2
合 計	158

## 休日議会の開催回数

0. 必要なし	2
1. 1回	11
2. 2回	45
3. 3回	4
4. 4回	18
5. どちらでも良い	26
9. 無回答	11
合 計	117

## 議長交際費の公表（平成24年4月～6月）

支出種別	支出金額（円）	支出の相手方及び行事名等	
御祝	5,000	4/20	大興善寺つつじ園開園式
御祝	5,000	6/17	基山少年剣道育成会結成35周年記念大会
御祝	3,940	5/31	モール商店街協同組合第32回通常総会
合計件数	合計額	年度累計件数	年度累計額
3	13,940	3	13,940

# 町民の声を議会改革に

## 第3次議会改革特別委員会

基山町議会は、これまでも議決機関としてのチェック機能と町政に対するの政策提言を実施してきた。地方分権が進展するなか、町長と議会の「三元代表制」が改めて問われており、特に住民の代表機関である議会の機能強化が求められていると同時に町民の皆さまに信頼される議会なのかが問われている。

### 全13議員から86項目の改革提案

第1次、第2次議会改革で検討され実施されたものを除き、今回改めて全議員から改革案を要請したところ86項目にわたり提案がなされた。

大分類として、1 組織施設、2 議事運営、3 議会活動、4 議会事務局の4項目にする。

中分類として、(1)施設、(2)組織機構、(3)日程関係、(4)意見書・陳情書、(5)質疑質問、(6)町民との連携、(7)町外との連携、(8)ICTの活用、(9)視察・研修・図書、(10)議会法務、(11)事務局改革にする。

さらに、これらの提案項目をひとつひとつ審議を行い、①すぐに取り組み、改革を実施すべきもの、②早急に改革を実施すべきもの、③今後検討して改革していくもの、④今後の検討課題とするもの、⑤現行どおりとするもの、に振り分け、改革が目に見えて実施できるようなスピード感をもって取り組んでいく。

### 町民アンケート調査を実施

今回の第3次議会改革において、町民の皆さまの意向・意見を伺うためのアンケート調査を行う。その結果を今後の議会改革に反映して、開かれた議会を目指していく。この調査は、無作為に抽出した1000人の町民の皆さまを対象に実施する。この意識調査は、今後の大事な調査資料となるため、ご理解、ご協力をお願いし、また、この調査結果については、後日、「議会だより」に掲載していく。



キウイフルーツの花

## 平成24年9月議会会期日程(案)

日	曜日	審議等の区分	内容	備考
7	金	提案理由説明		議案の提案理由を説明します。
8	土	休会		
9	日	休会		
10	月	一般質問		議員が町政に関する一般的な質問を行います。
11	火	一般質問		議員が町政に関する一般的な質問を行います。
12	水	条例等及び24年度補正予算について	議案審議	提出された議案に対し質疑を行います。
13	木	条例等及び24年度補正予算について	常任委員会(委員会室にて)	常任委員会で詳しく議案を審査します。
14	金	休会		
15	土	休会		
16	日	休会		敬老の日
17	月	条例等及び24年度補正予算について	委員長報告 討論採決	常任委員会の審査結果を報告します。議案ごとに討論し採決を行います。
18	火	休会		
19	水	休会		
20	木	休会		
21	金	23年度決算について	本会議 特別委員会	決算について総括質疑を行います。特別委員会で詳しく決算の審査を行います。
22	土	休会		秋分の日
23	日	休会		
24	月	23年度決算について	特別委員会(委員会室にて)	特別委員会で詳しく決算の審査を行います。
25	火	23年度決算について	委員長報告 討論採決	特別委員会の審査結果を報告します。23年度決算の承認について採決を行います。
26	水	23年度決算について	委員長報告 討論採決	特別委員会の審査結果を報告します。23年度決算の承認について採決を行います。

※この日程は予定であり、状況により変更することがあります。

## 広報編集委員会

委員長 木村 照夫 副委員長 木村 照夫  
 委員 河野 保久 委員 牧蘭 綾子  
 委員 久保山 義明 委員 神前 輔行